

岡森連時報

第32回 岡山県民有林優良材

展示コンクールを開催

総取扱数量5千60³m



▲ 出品材の様子 (津山木材共販所)

11月10日、県森連津山木材共販所において、『第32回岡山県民有林優良材展示コンクール』を開催しました。森林組合のご協力のもと、5千60³mの出荷をいただき、多くの優良材を揃えることができました。コンクールへの出品は、県北を中心にスギ35点ヒノキ82点マツ1点の計118点あり、農林水産大臣賞のほか、7つの賞に対して13点が選出されました。

(各賞、受賞者は下表のとおり)
最高位の農林水産大臣賞には、竹下英

発行
岡山県森林組合連合会
岡山市北区岡南町2-5-10
電話 086(222)7671
FAX 086(224)2655
ホームページ
<http://www.okmorien.or.jp>



美さん(鏡野町)のヒノキが選ばれました。

当日、11時から行われた記念式典では、小野会長から、「新型コロナウイルス感染症防止の観点から、式典の規模を大幅に縮小しての開催となり、ご理解を賜りますようお願いいたします。

コロナ禍にあり本年度のこの特別市が開催できるかどうか心配しておりましたが、関係者のご協力のもと、無事本日を迎えることができましたことに大変感謝申し上げます。

そして、この度、受賞された皆様には大変おめでとうござい

ます。

審査の結果をお聞きしたところ、木材価格低迷の中、いずれも丁寧な手入れをされており、



▲小野会長挨拶



▲農林水産大臣賞
ヒノキ6m×径44~50cm



▲当日の様子(津山木材共販所)

ご努力に心よりの敬意を表します。当会といたしましても、引き続き情報提供や造材支援並びに有利販売に積極的に取り組んで参ります。」と挨拶がありました。



▲(前列左)農林水産大臣賞
竹下 英美 様

農 林 水 産 大 臣 賞	竹下 英美 (鏡野町)
林 野 庁 長 官 賞	大釜 環 (美咲町)
近畿中国森林管理局長賞	三浦 喜美枝 (鏡野町)
岡 山 県 知 事 賞	瀬恒 勇治 (真庭市)
農林中央金庫岡山支店長賞	高田 通孝 (津山市)
岡山県木材組合連合会長賞	氏平 雄人 (津山市)
全国森林組合連合会長賞	土居 義範 (津山市)
岡山県森林組合連合会長賞	小林 泰利 (津山市)
同	小椋 健治 (津山市)
同	森岡 和雄 (津山市)
同	難波 芳英 (美咲町)
同	塚本 巖 (新見市)
同	小椋 陽一郎 (美作市)

△別表



新見地区木材まつり

10月23日、県森連新見木材共販所で第44回新見地区木材まつり展示会が開催されました。

当日は、前日から降りしきっていた雨も上がり、青空も広がる絶好の特市日和の中、主催の新見地区木材組合戸川組合長が挨拶した後、9時半から市が開始されました。

総取扱量は約3千5百m³でした。

会場は、出荷者、森林所有者、素材生産業の社員や森林組合職員など多数の観覧もあり、熱気ある競りの様子を熱心に見入っている様子でした。

なお、岡山県知事賞以下の結果は別表をご覧ください。



▲当日の様子(新見木材共販所)



▲当日の様子(新見木材共販所)

〈別表〉

岡山県知事賞	清川木材(有)
近畿中国森林管理局長賞	(株)大輪
新見市長賞	小原博文
岡山県木材組合連合会長賞	(株)戸川木材
新見市森林組合長賞	植田木材
新見商工会議所会頭賞	YAMATO
備北民報株式会社社長賞	(株)平山農林
岡山県森林組合連合会長賞	(有)杉産業
新見地区木材買方組合長賞	(株)山崎木材
新見地区木材組合長賞	合同会社バイオマスサブライ

本会地鎮祭

10月5日に当会の本会新築移転工事の地鎮祭が執り行われました。

新事務所は現在当会の木材センターのある岡山市北区檜津地内に建築するものです。
令和3年2月末に完成する予定です。



▲小野会長挨拶



▲当日の様子

森林林業白書について

令和2年度の森林・林業白書の大きなテーマは、「持続可能な開発目標に貢献する森林・林業・木材産業」であり、今まで木材が使われていなかったところに木材を利用すること(ウッドチェンジネットワーク)により、地域活性化や建設時の環境負荷低減や木材自給率を上げる考えです。



▲導入した森飛-MORITO-

また、スマート林業のフル活用を始めた「林業イノベーション」の推進について、先進的造林技術の導入・実践により一貫作業、低密度植栽、ドローン等で、省力化・軽労化することで、コストを削減する。早生樹等の利用拡大をすることで林業の時間軸を変え、早く育てて収穫できる林業の実現を目指すものです。
県森連としては、11月に林業用ドローンを導入し、今後、苗木や資材の運搬事業等を予定しています。

端材販売はじめました

端材の販売ははじめました

端材

販売価格：1束【5本程度】350円(税込)
30束【150本程度】9,900円(税込)

長さ約60cm厚み約5cm幅ランダムチップファイヤー等【約4束(18本)使用】

トーチ

販売価格：1,000円(税込)

【基本サイズ】直径18cm×高さ30cm

※トーチのお問い合わせは県森連新見支所 0867-72-0622へお願いします。

個別オーダー

販売価格等：ご相談ください
チェーンソーカービングなどにご利用ください。

支払方法：引き取りの際に現金にてお願いします。
※配達等はこちらではありません
県森連本会(岡山市北区岡南町2-5-10)または木材センター(岡山市北区檜津485)まで引き取りをお願いします。
申込は電話またはmailにてお願いします。
☎086-222-7671 ✉info@okmoriren.or.jp

緑の雇用

令和2年度緑の雇用集合研修は、6月から年間スケジュールに沿って開催しています。

今年度はコロナウイルスの影響もあり、座学の時などは、マスクの着用を徹底し、隣同士の距離をとるなど、感染防止対策を徹底して実施しております。

さて、集合研修も終盤にさしかかり、フォレストワーカー3年生にとつては残りわずかとなりました。少しでも実践的な技術を取り入れるため、講師への質問も多くなるなど、研修への積極的な姿勢が見受けられます。林業業界では、年々機械化が進み、左写真のとおり、緑の雇用研修でも高性能林業機械を使用した研修にも力を入れていきます。



▲現場研修の様子

10月の研修では、ハーベスタ、フォワーダ、グラップル等で集材、造材、運搬の一連の作業の研修をしました。研修生の中には、慣れない機械に苦戦しながらも、研修生同士で教え合うなど、3年生ならではのチームワークを感じました。



▲現場研修の様子



▲FL(フォレストリーダー)研修様子

上の林業従事者の方を対象としたフォレストリーダー研修を開始しています。岡山県での開催は2回目となります。

研修内容のレベルが上がり、休憩中でも常に仕事の話をしているのを聞くと、意識の高さを感じます。

フォレストワーカー、リーダーも研修が残りあとわずか、現場での安全意識を高く持って頑張っていたきたいと思います。

「森林経営管理制度」における
森林保険の活用

森林保険センター



林業の成長産業化と森林資源の適正化を図る「森林経営管理制度」が平成31年4月に開始されました。本制度が適切に運用されるためには、市町村等が経営管理する森林の自然災害リスクへの備えが必要であり、森林保険が重要な役割を担います。各自治体におかれては、森林所有者への意向調査や経営管理の具体的な計画作成に向けた作業が進められています。例えば、森林所有者から委託された森林が大雨や台風等により損害を受けた場合の対応について検討されており、早期復旧等を地域が委託された森林に発生した場合、

～保険金のお支払いの対象となる8つの災害～

 山火事で受けた損害	 暴風による幹折れ、根返りなどの損害	 豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害	 豪雪・積雪による幹折れ、根返りなどの損害
 乾燥による枯死などの損害	 凍結、暴風などによる枯死などの損害	 潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害	 火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

ら要請されることも予想されますが、その際には復旧費用が必要となります。

森林組合の皆様におかれては、日頃からお付き合いのある関係自治体に対し、本制度における森林保険の活用をご理解いただくとともに、

▼委託された森林の経営管理の内容について、災害発生時に誰が復旧作業を行うのか、その費用は誰が負担するのか等について経営管理権集積計画等に具体的に記載すること

▼森林所有者から委任を受けた市町村等が森林所有者に代わって保険金を代理受領し、森林の復旧や造林費用に充てることのできる制度もあることなどを是非ご紹介いただきますようお願いいたします。

理事会を傍聴して

企画指導課 内田 旭

10月23日に本会2階会議室において開催された第3回理事会に出席させていただきました。冒頭、会長の挨拶から始まり、官房検査、内部監査等の報告事項があり、令和2年度上半期事業及び損益実績、令和3年度自民党県議団への陳情について協議されました。

理事会では、まったく聞き慣れない言葉もあり、内容に関して理解出来ない点も多く、説明についていくのがやっとの状況であり、自分の勉強不足を痛感しました。

その後の質疑応答でも理事と専務のやりとりなどは、知識量が桁違いであり、説明力の高さを感じました。

私も現在、緑の雇用等で人前で説明することもありますが、今回の経験を参考にし、堂々と仕事を段取り八分と言うのが良く分かりました。



全国代表者表彰について

今年度はコロナウィルスの拡大を防止するため全国森林組合代表者大会表彰は中止となりました。

当県の表彰者は左記のとおりです。(敬称略にて記載させていただきます。)

栄えある表彰を受けられました方々に対しましては、心よりお祝い申し上げます。

●功労表彰(永年勤続表彰)

―役員―
単位組合代表理事
長代直行 (備中南森林組合)

―職員―
連合会職員
小松庸介 (岡山県森林組合連合会)

単位組合職員
畝本和明 (真庭森林組合)
西村道典 (真庭森林組合)

―作業班員等―
高杉健太 (真庭森林組合)
近藤泰史 (真庭森林組合)

小川義行 (岡山森林組合)
井戸邦暁 (美作東備森林組合)

田村良治 (新見市森林組合)

―感謝表彰―
―定年退職した職員―
連合会職員
塚本裕三 (岡山県森林組合連合会)

単位組合職員
黒田寛文 (岡山森林組合)

令和3年度岡山県予算編成に


陳情について

関する各種団体個別懇談会に出席し自民党県議団へ陳情書を提出しました。

当会からは、次の事項を陳情しました。

本県の森林資源は、戦後造成された人工林を中心に本格的な利用期を迎えています。長期にわたる木材価格の低迷により、森林所有者の経営意欲は著しく減退し、森林の多面的な機能の発揮への影響も懸念されています。

令和元年度から森林環境譲与税制度が創設され、市町村が主体となつて森林経営管理を推進する「新たな森林管理システム」の運用が始まり、森林林業施策は大きな転換期を迎えています。こうした中、森林組合系統は一丸となり、「林業の成長産業化」を現実のものとするために、森林の集約化、間伐、皆伐・再造林などの森林整備や担い手の確保・育成、県産材の利用促進等に努めているところであります。

つきましては、次の事項の実現に向け、特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

1 林業技術研修施設の運営について

県では、現在、勝央町の森林研究所内に新たに林業技術研修施設の整備に取り組みされており、

「林業の成長産業化」を実現するためには、林業就業者の確保・育成はもとより、ICTを活用した戦略的な林業経営を提案・実現することができる林業技術者の養成は大変重要であり、大きな期待をしているところであります。

今後この施設を活用した技術研修が、県、県森連、(公財)林業振興基金など林業関係団体との連携のもと、全体の研修計画が体系化され、円滑かつ効果的に実施されるよう要望いたします。

2 森林経営管理制度の推進に向けた市町村への指導について

森林環境譲与税を効果的に活用し、森林経営管理制度を円滑に運用するためには、専門的な人材が少ない市町村に対して県の林業専門職員が出向するなど、市町村、県、地域の森林の現状に精通した森林組合が一体となり、森林所有者への意向調査を加速していく必要があります。

このため、県のリーダーシップのもと、地域ごとの実施体制づくりと地域の実情に即した支援策が進むよう要望いたします。

3 適切な森林管理の推進支援について

森林の有する公益的機能を継続的に発揮し、災害に強い森づくりや花粉発生源対策を進めていくためには、間伐や主伐後に少花粉苗木による再造林が確実に

に行われることが重要であり、下草刈りや作業路網整備など経費助成のさらなる改善とICT等の導入促進等による低コストで効率的な実践体制づくりを要望いたします。

また、県北東部では、シカによる造林木への被害が、年々広域化し、鳥取県との県境地域では、ナラ枯れ被害が急拡大しており、こうした森林病虫害被害に対して駆除や被害拡大防止対策を強化するとともに、広葉樹の利活用の一層の推進をお願いいたします。

4 生産性の向上と県産材の需要拡大について

県内の森林資源は、年々充実してきており、丸太の生産量は、ヒノキを中心に増加傾向にあるものの、製材品の出荷量は減少傾向にあります。このため、人と環境にやさしい県産製材品を建築物の木造、木質化や公共工事等に積極的に利用を図るとともに、大規模建築物等に使用されるCLT(直交集成板)の原材料に、県産認証材をより多く使用されるようお願いいたします。

森林の仕事ガイダンス

11月14日に全国森林組合連合会主催の森林の仕事ガイダンスが福岡県で開催されました。

このガイダンスは、全森連が主催し、新たな林業の担い手の確保・育成を目的に、森林・林業に関心を持つ方を対象に実施する説明・相談会です。

当県はコロナウィルスの拡大防止のため、現地には行かずリモートで参加をしました。

岡山県に興味を持ち、林業に魅力を感じ就業していただけるよう今後も参加していきたいと思っております。



▲リモートでの様子



▲今年度の森林の仕事ガイダンス特設ページ